

他の多くの殺虫剤とは違う効き方です!!

稲



ニカメイチュウ



コブノメイガ



イネツトムシ



イネドロオウムシ



イネミズソウムシ

野菜・果樹



マメハモグリバエ



コナガ



ネギアザミウマ



アブラムシ類



ミナミキイロアザミウマ



ミカンキイロアザミウマ



チャノホソガ



フタテンヒメヨコバイ



ナモグリバエ



チャノミドリヒメヨコバイ



チャノキイロアザミウマ



適用作物

稲、キャベツ、はくさい、だいこん、ブロッコリー、ねぎ、たまねぎ、
ほうれんそう、チンゲンサイ、レタス、非結球レタス、かき、
くり、びわ、大粒種ぶどう、キウイフルーツ、茶、とうもろこし、
ばれいしょ 等

園芸用殺虫剤



パダン[®] SG 水溶剤

パダンは住友化学(株)の登録商標

パダン® SG水溶剤

●有効成分：カルタップ塩酸塩…75.0% ●性 状：青緑色水溶性細粒

医薬用外劇物

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

適用害虫と使用方法

2022年1月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当りの 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	ニカメイチュウ コブノメイガ、イネツトムシ イネハモグリバエ	1500倍	60～150g	21日前	本剤：6回 カルタップ：6回(※1)	散 布
	イネシガラセンチュウ	1500～3000倍	—	浸種前	本剤：1回 カルタップ：6回(※1)	
					24時間 種もみ浸漬	
キャベツ	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 ハイマダラノメイガ、ナメクジ類	1500倍	100～300g	14日前	4回	散 布
はくさい	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 カブラハバチ、ナメクジ類			7日前	3回	
チンゲンサイ	ハモグリバエ類、コナガ キスジノミハムシ			14日前	2回	
レタス	ハモグリバエ類、ナメクジ類 アブラムシ類			7日前	3回	
だいこん	コナガ、アオムシ、アブラムシ類 カブラハバチ、キスジノミハムシ ハモグリバエ類			7日前	1回	
はつかだいこん	コナガ			前日	3回	
なばな	コナガ、アブラムシ類			7日前	4回	
さやえんどう	ウラナミシジミ			7日前	3回	
実えんどう	ナモグリバエ			前日	3回	
ブロッコリー	コナガ			7日前	4回	
たまねぎ	アザミウマ類	1500倍	200～700g	前日	2回	散 布
ねぎ	クロバネキノコバエ類			7日前	3回	
ほうれんそう	ミナミキイロアザミウマ アシクロハモグリバエ、シロオビノメイガ			7日前	4回	
てんさい	シロオビノメイガ			45日前	3回	
かき	チャノキイロアザミウマ、カキホソガ イラガ、カキノキマダラメイガ カキノヘタムシガ			裂果前	5回	
くり	モモノゴマダラノメイガ ネズギキノカワガ			春芽伸長 初期まで 但し、90日前	3回	
びわ	ナシヒメシメクイ			21日前	3回	
びわ(葉)				30日前	1回	
大粒種ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテヒメコバエ、スカシバ類			摘採10日前 まで	2回	
キウイフルーツ	キイロマイコガ キウイヒメコバエ			60～150g	14日前	
茶	チャノホソガ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバエ	1500倍	100～300g	100～300g	7日前	散 布
とうもろこし 飼料用とうもろこし	アワノメイガ			1000～1500倍	100～300g	
はとむぎ	アワノメイガ			60～150g	14日前	
ばれいしょ	ジャガイモガ若齢幼虫			100～300g	7日前	
ホップ	アズキノメイガ、アサノミハムシ			200～700g	7日前	
しそ	アザミウマ類			3000倍	2回	
しょうが	アズキノメイガ、アワノメイガ			—	5回	
ガーベラ	マメハモグリバエ			発生初期	4回	
シクラメン	ミカンキイロアザミウマ			—	5回	
いぐさ	イグサシムシガ			7日前	3回	
ふき	アザミウマ類	300倍	—	120日前	本剤：2回 カルタップ：4回(※2)	30分間 種もみ浸漬
ふき(ふきのとう)	アブラムシ類 フキノメイガ			30日前	3回	
くわい	ハスモンヨトウ			前日	1回	
さやいんげん	マメハモグリバエ			発生初期	3回	
さいとも	ネグサレセンチュウ			植付前	1回	
樹木類	シャクトリムシ類			1500～3000倍	200～700g	

ペースト肥料と混和して側条施用する場合

作物名	適用害虫名	10a当りの使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	イネドロオウムシ	100～200g	移植時	本剤：1回 カルタップ：6回(※1)	ペースト肥料に溶かし、 側条施肥田植機で 施用する
	イネミズゾウムシ コブノメイガ	200g			
	ニカメイチュウ				

※1：浸種前は1回以内、浸種後から直播では移植時又は移植時までの処理は1回以内

※2：水溶剤の処理は2回以内、粒剤の処理は2回以内 ※3：種もみ粉衣は1回以内、散布は6回以内

※：収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

パダンの効き方



多くの殺虫剤で効きにくくなった害虫にも効果があります。

使用上の注意<抜粋>



- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合してください。
- 本剤を使用した場合には、チオシクロラム又はベンシルスタップを含む剤は使用しないでください。
- 側条施用する場合は次の注意を守ってください。
 - 同一の害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤と併用すると薬害発生のおそれがあるのでさけてください。
 - 使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に流入しないよう注意してください。
 - アルカリ性ペースト肥料との混和は有効成分が分解するおそれがあるので、混和可能が確認されているペースト肥料以外との混和はさけてください。
- イネシガラセンチュウ防除のため種もみ消毒をする場合、催芽種では薬害のおそれがあるので催芽前に処理してください。
- あぶらな科野菜に使用する場合は、夏季高温時の苗や軟弱な苗に対しては薬害を生じるおそれがあるので、このような苗には使用しないでください。
- かきに使用する場合は、果実の着色直前に降は薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かき、大粒種ぶどうには樹勢の弱い場合には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- ほうれんそうに使用する場合は、高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- ガーベラには品種(パールレイン、マンボなど)によっては薬害を生じるおそれがあるのであらかじめ薬害のないことを確かめたくて使用してください。
- キウイフルーツに使用する場合は、新葉に薬害(黄変)が生じることがあるので注意してください。
- シクラメンに使用する場合は、あらかじめシクラメンに散布してみても薬害がないことを確かめたくて使用してください。
- ミナミキイロアザミウマの防除に使用する場合は、生息密度が高まると効果が劣るので、初発生を見たらすぐに散布してください。なお、ミナミキイロアザミウマは繁殖が早いので、散布はかけ残しのないよういていに行ってください。
- びわのナシヒメシメクイの防除に当っては、新梢、収穫前、芽かき前、剪定時等に食入した幼虫を対象に散布してください。
- なす、たばこには薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 室に対して長期毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用をさけてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。
- 眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 粉末は皮膚に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
- 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布等の作業の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。
- 作業後は手洗、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚池では使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、ドジョウ)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養魚池等周辺での使用はさけてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、使用残液及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

2201SC/ZS20